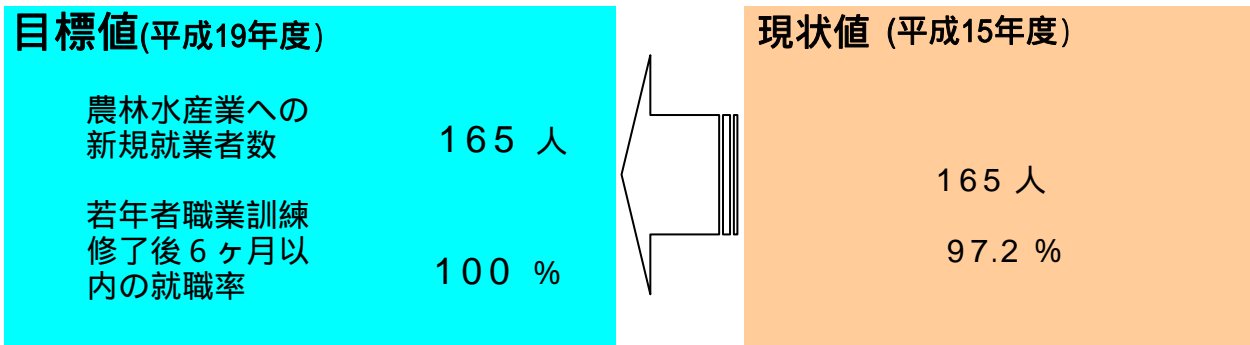


政策 (- 4) 産業を担う人づくり

目的

就業希望者のさまざまな産業分野における、円滑な就労・就業をすすめるため、研修や職業訓練を行い産業を担う人づくりをめざします。

成果指標と目標値



人々が研修や職業訓練を通してさまざまな産業分野への就業等の状況を見る指標です。

現状と課題 - 政策の取組方向 -

本県の農林水産業就業者数は毎年千人単位で減少し10年間で約3分の2に減少する一方新規就業者は百人単位で推移している状況にあり、後継者や新規参入者の確保が重要な課題となっています。

農林水産業への就業がしやすいよう、情報の提供、資金の支援、技術習得のための研修など、総合的な環境の整備が求められています。

また、厳しい雇用状況が続く中で、企業は即戦力となる労働者を必要としており、労働者は多様な働き方を求めています。

これからは雇用環境の変化に対応できるよう、ITなどの新たな成長分野における能力開発も必要となってきます。

政策の目的を達成するため、次の施策を実施します。

- 4 - 1 農林水産業の新たな担い手の育成
- 4 - 2 多様な職業能力開発の推進

県民のみなさんへ

本県で農林水産業に就業の希望をされるみなさんに対して、県では技術習得のための研修事業や初期資金の支援等を展開していますので、積極的に利用してください。

新たな雇用機会となる医療・福祉、環境、情報通信分野での必要な技術・技能を積極的に身につけてください。